愛知県埋蔵文化財センター研究紀要
第24号
2023.5
53-58p

三河地域の縄文時代竪穴建物跡の比較・分析

渡邉　峻

設楽ダム関連事業によって新たに発掘された縄文時代竪穴建物跡のデータを加えて、三河地域の縄文時代竪穴建物跡の比較・分析を行い、地域差などの検討を行う。

1．はじめに

愛知県埋蔵文化財センターでは、2014 年から継続的に設楽ダム建設事業に伴う事前調査として、国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所から愛知県教育委員会を通じた委託を受けて設楽町の遺跡を発掘し、多くの成果をあげてきた。特に縄文時代の竪穴建物跡は数多く確認され、筆者はこれらを一度資料にまとめた（渡邉 2022)。本稿はそれらの成果に加えて、三河地域の他の縄文時代の竪穴建物跡の資料を比較・検討し、その意味を検討したい。

2．対象の遺跡

対象とする遺跡は、三河地域において縄文時代の竪穴建物跡が確認されている図 1 の 55 遺跡である。

愛知県における縄文時代の竪穴建物跡を表としてまとめた岩瀬彰利氏 (岩瀬 1997) と伊藤正人氏 (伊藤 2003) の資料と比較し、設楽ダム関連の遺跡の資料はもちろん、豊橋市や豊田市、西尾市でも発掘調査が行われ、多くの資料が追加された。それらの資料をまとめたものが表 1 ～表 3 である。なお、遺構の時期などの表現に統一性がないが、これは各遺跡の報告書などの表記を尊重し、そのまま記載しているためである。表中に「推定」や「？」などの曖昧な表現が伴う資料は、遺構が全て確認できておらず、報告書の執筆者が確認できる範囲で推測された場合に用いている。遺構の面積も残存している範囲で記載している。また、新城市の観音前遺跡や豊田市 (旧旭町) の資料の一部に遺漏がある。これらは筆者の怠慢により資料の確認が間に合わず、本稿では記載出来なかったためである。

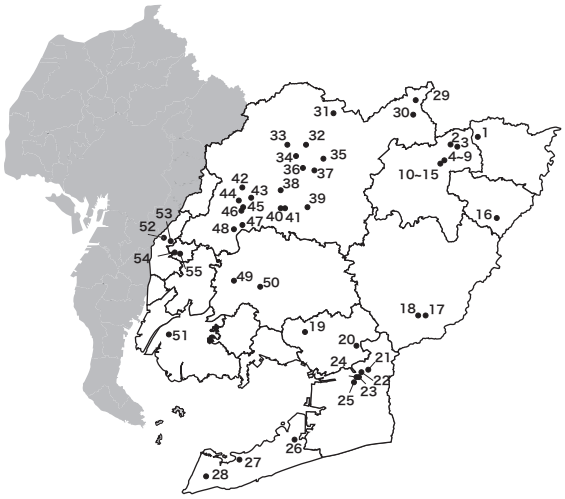

図 1　縄文時代竪穴建物跡を有する三河地域の遺跡の位置図
※表 1 ～表 3 と合わせて参照

3．資料の比較・検討

愛知県における縄文時代の竪穴建物跡の先行研究は、岩瀬彰利氏 (岩瀬 1997) や増子康眞氏 (増子 2001)、高橋健太郎氏 (高橋 2002)、伊藤正人氏 (伊藤 2003) の研究が挙げられる。

岩瀬氏は愛知県を沿岸部と山間部に地域を分け、中期と晩期では山間部で石囲炉、沿岸部では地床炉と竪穴建物跡の屋内炉が二分化する傾向があることと、竪穴建物跡の形態の変化を縄文時代を通してまとめ、中期後葉より長野県伊那地方の特徴である四本柱の主柱穴を有する五角形・隅丸方形状の竪穴建物跡の増加から、この時期に多数の移住者が中部高地から愛知県に移住した可能性を指摘する。

増子氏は岩瀬氏の指摘に加え、中期後半から貯蔵穴が屋内から消失し、屋内の石柱祭祀が行われることを指摘する。

表１　三河地域の縄文時代竪穴建物跡 一覧表（1）

地図番号	遺跡名（市町村）・遺構名	時期	形態	大きさ (m)	深さ（cm）	主柱穴	壁柱穴	周溝	炉　種類	炉　形	炉　大きさ（cm）
1	宮嶋遺跡（豊根村）										
1-1	竪穴住居	後期中葉	隅丸方形	3.8 × 3.4		○	×	×	石囲炉		
2	鞍船遺跡（設楽町 旧津具村）										
2-2	第１号住居趾	前期後半	隅丸方形	4.2 × 4.0	20	○	×	×	×	×	×
2-3	第２号住居趾	前期後半	楕円形	4.2 × 2.8	20	×	×	×	×	×	×
2-4	第３号住居趾	前期後半	隅丸方形	3.2 × 3.1	20	×	○	×	×	×	×
2-5	第４号住居趾	前期後半	円形	3.4 × 3.2	30	×	×	×	×	×	×
2-6	第５号住居趾	前期後半	円形	4.3 × 4.1	30	×	○	×	×	×	×
2-7	第６号住居趾	前期？	円形？	？	？				×	×	×
3	大根平遺跡（設楽町 旧津具村）										
3-8	１号住居址	中期前半	円形	4.1 × 4.0	30	○	×	×	石囲炉	五角形又は円形	70 × 60
3-9	２号住居址	中期後半	隅丸方形	4.8 × 4.8	60	○	×	○	地床炉		径 80
4	滝瀬遺跡（設楽町）										
4-10	807SI	早期前葉	隅丸方形	4.3 × 3.9	35（斜面）	×	×	×	×	×	×
4-11	809SI	早期前葉	円形	径 3.6	38（斜面）	×	×	×	地床炉？	×	×
4-12	828SI	早期前葉	円形 又は隅丸方形	径 3.5	24（斜面）	×	×	×	×	×	×
4-13	829SI	早期前葉	方形（推定）	4.3 × 3.4	31	×	×	×	×	×	×
4-14	830SI	早期前葉	円形 又は隅丸方形	径 5.6	42	×	×	×	×	×	×
4-15	836SI	早期前葉	隅丸方形	3.5 × 3.3	26（斜面）	×	×	×	×	×	×
4-16	839SI	早期前葉	円形（推定）	径 2.8	20（斜面）	×	×	×	×	×	×
4-17	840SI	早期前葉	円形（推定）	径 2.8	15	×	×	×	×	×	×
4-18	845SI	早期前葉	方形（推定）	長軸 3.6（推定）	39（推定）	×	×	×	×	×	×
4-19	848SI	早期前葉	円形（推定）	径 3.7（推定）	17	×	×	×	×	×	×
4-20	860SI	早期前葉	円形	径 3.5	26（推定）	×	×	×	×	×	×
4-21	060SI	中期後半～後期初頭	円形	径 3.0		×	×	×	石囲炉	方形	50 × 50
4-22	201SI	中期後半	五角形	5.0 × 4.7	22	○	○	×	石囲炉	方形	107 × 82
4-23	215SI	中期後半	五角形	5.0 × 4.9	35	○	○	×	石囲炉	方形	130 × 120（推定）
4-24	360SX	後期初頭	五角形	5.7 × 4.9	×	×	×	×	土器埋納炉		47 × 39
4-25	436SI	後期初頭	五角形	5.7 × 4.9	23	×	○	×	？		87 × 70
5	下延坂遺跡（設楽町）										
5-26	1100SI	中期後半	隅丸方形	3.6 × 3.6	35	×	○	×	石囲炉	方形	85 × 75
5-27	1110SI	中期後半	隅丸方形	4.75 × 4.5	41	○	×	×	石囲炉（副炉）	方形	102 × 84
6	石原遺跡（設楽町）										
6-28	170SI	中期前半	円形	径 3.8	20	○	×	○	×	×	×
6-29	325SI	中期前半	円形	径 7.8	50	○	○	○	石囲炉	方形	72 × 72
7	上ヲロウ・下ヲロウ遺跡（設楽町）										
7-30	1112SI	中期中葉	円形	径 3.8	5	×	○	×	地床炉		径約 60
7-31	1152SI	中期後半～後期前葉	円形 又は隅丸方形	径 4.0	10	○	○	×	石囲炉	方形又は五角	82 × 74
7-32	1154SI	中期後半～後期前葉	円形	径 3.5	4	×	○	×	石囲炉	方形	約 50 × 50
7-33	1420SI	中期後半～後期前葉	円形	径 3.4		○	○	×	石囲炉？	方形？	
7-34	1270SI	中期後半～後期前葉	円形	径 4.6	9	○	○	×	石囲炉？		
7-35	1350SI	中期後半～後期前葉	円形 又は五角形	径 4.9	25	○	○	×	×	×	×
7-36	1193SI	中期後半～後期前葉	円形（推定）	径 3.5	8	○	○	×	地床炉		
7-37	2703SI	後期前葉	隅丸方形	3.6 × 3.6	28（斜面）	×	○	×	地床炉		
7-38	2740SI	後期前葉	隅丸方形	3.6 × 2.9	29	○	×	×	石囲炉？	×	×
7-39	1450SI	後期前葉～中葉	円形	径 3.0	14	×	○	×	×	×	×
7-40	1449SI	後期前葉～中葉	円形	径 4.2	25	×	×	×	土器埋納炉		径約 64
8	笹平遺跡（設楽町）										
8-41	3893SI	中期後半	隅丸方形	5.68 × 5.49	43	○	○	○	石囲炉	方形	127 × 012 ？
8-42	1155SI	中期末～後期中葉	楕円	4.97 × 4.52	26	○	×	×	土器敷炉		96 × 64
8-43	1864SI	中期末～後期中葉	楕円（推定）	4.23 × 2.18 以上（推定）	15	×	○	×	×	×	×
8-44	2216SI	後期初頭	隅丸方形	5.90 × 5.46	16	×	○	×	地床炉？	楕円形	132 × 99
8-45	4299SI	後期初頭～後期前葉	円形	4.03 × 1.39 以上（推定）	10	×	○	×	石囲炉	楕円形	
8-46	1406SI	後期初頭～後期中葉	円形（不定形）	4.53 × 3.92	27	×	○	×	地床炉？		115 × 86
8-47	1559SI	後期初頭～後期中葉	楕円（推定）	4.84 × 3.83（推定）	42	×	○	×	石敷炉		85 × 59
8-48	2400SI	後期初頭～後期中葉	隅丸方形（推定）	5.4 × 5．4（推定）	23	×	○	×	×	×	×
8-49	2402SI	後期初頭～後期中葉	隅丸方形（推定）	6 × 6	5	×	○	×	×	×	×
8-50	2404SI	後期初頭～後期中葉	隅丸方形（推定）	5.39 × 1.94 以上（推定）	21	×	○	×	土器敷炉		28 × 26
8-51	2405SI	後期初頭～後期中葉	隅丸方形（推定）	4.17 × 2.28	10	×	○	×	×	×	×
8-52	3429SI	後期初頭～後期中葉	隅丸方形（推定）	5.11 × 4.26 以上（推定）	11	×	○	×	地床炉？		51 × 47
8-53	3947SI	後期初頭～後期中葉	円形	3.83 × 3.78	15	×	○	×	石囲炉	方形	67 × 63
8-54	4240SI	後期初頭～後期中葉	円形	径 5.3		×	×	×	石囲炉	方形	130 × 116
8-55	4241SI	後期初頭～後期中葉	円形	径 4.7		×	○	×			
8-56	4141SI	後期初頭～後期中葉	楕円	5.83 × 5.24		×	○	×	石囲炉	方形	71 × 56
8-57	4150SI	後期初頭～後期中葉	楕円	5.34 × 4.92	26	×	○	×	地床炉？		116 × 106
8-58	4310SI	後期初頭～後期中葉	円形	径 5．8		×	○	×	石敷炉	楕円形	116 × 81
8-59	2215SI	後期初頭～後期中葉	隅丸方形	5.51 × 4.61	28	○	×	×	×	×	×
8-60	4293SI	後期前葉	隅丸長方形	5.3 × 4.2	16	×	○	×	石囲炉	楕円形	115 × 57
8-61	2338SI	後期前葉～中葉	円形	3.93 × 3.6	19	×	○	×	石囲炉	方形	115 × 86
8-62	3258SI	後期前葉～中葉	楕円形（推定）	7.67 × 5.68 以上（推定）	17	×	×	×	地床炉？		57 × 53
8-63	788SI	後期前葉～中葉	楕円（不定形）	7.86 × 6.25	70	×	×	×	土器敷炉		42 × 32
8-64	790SI	後期前葉～中葉	円形（不定形）	5.67 × 4.89	48	×	×	×			94 × 77
9	万瀬遺跡（設楽町）										
9-65	1700SI	早期前葉	多角形（推定）	径 5.8m（推定）	10	×	×	×	×	×	×
9-66	1710SI	早期前葉	多角形（推定）	径 3m（推定）	20（斜面）	×	×	×	×	×	×
9-67	1720SI	早期前葉	多角形（推定）	径 3.8m（推定）	30	×	×	×	×	×	×
9-68	1730SI	早期前葉	多角形（推定）	径 3.8m（推定）	10	×	×	×	×	×	×
9-69	1740SI	早期前葉	多角形（推定）	径 2.8m 以上（推定）	20（推定）	×	×	×	×	×	×
9-70	2460SI	早期前葉	多角形（推定）	径 4 m（推定）	20	×	×	×	×	×	×
10	大栗遺跡（設楽町）										
10-71	090SI	中期（推定）	円形（推定）	3.6 × 3.2	20	○	×	×	石囲炉	方形	79 × 79
11	大畑遺跡（設楽町）										
11-72	192SI	中期前半～中葉	隅丸方形（推定）	4.6 × 1.3（残存）		×	○	○	×	×	×
11-73	310SI	中期後半	円形 又は五角形	4.1 × 4	30（斜面）	×	×	×	×	×	×
11-74	362SI	中期後半	隅丸方形	4.1 × 4	40	○	×	○	石囲炉	方形？	75 × 75（推定）
11-75	362SI(2)	中期後半	隅丸方形	4.1 × 4		○	×	×	石囲炉	方形	50 × 50（推定）
11-76	420SI	中期後半	方形	3.3 × 3.3	30	×	×	×	×	×	×
11-77	440SI	中期後半	円形 又は多角形	4.5 × 4.0	30（斜面）	×	×	×	×	×	×
11-78	490SI	中期後半	楕円形	4.8 × 3.3	40（斜面）	×	×	×	×	×	×
11-79	700SI	中期後半	楕円又は隅丸方形	3 × 3	10	×	×	○	×	×	×
11-80	890SI	中期後半	円形	3.3 × 3.3	35	×	×	○	×	×	×
11-81	1000SI	中期後半	方形	3.6 × 3.6	10	×	×	×	×	×	×
11-82	1030SI	中期後半	隅丸方形（推定）	3.6 × 3.6	30	×	×	×	×	×	×
11-83	065SI	中期末	円形 又は多角形	径 4.4	48（斜面）	○	×	×	石囲炉（副炉）	方形	50 × 50
11-84	300SI	後期初頭	隅丸方形 又は多角形	4.1 × 4	20（斜面）	○	×	×	石囲炉	方形	径 1 m
12	川向東貝津遺跡（設楽町）										
12-85	001SI	中期後半	隅丸方形	3 × 2.5	24	○	○	○	石囲炉	方形	60 × 60
12-86	002SI	中期後半	隅丸方形	4 × 4	37	○	○	×	石囲炉	方形	90 × 90
12-87	003SI	中期	隅丸方形（推定）	4.7 × 4	34	○	×	×	石囲炉	五角	100 × 90
12-88	114SI	中期	円形	5.2 × 4.9	24	○	○	○	石囲炉		70 × 70
12-89	177SI	後期	円形	6.7 × 5.2	8	×	○	×	石囲炉？		
12-90									地床炉		
12-91	218SI	後期初頭	隅丸方形（推定）	5 × 5（推定）	9	×	×	×	×	×	×
12-92	220SI	後期初頭	隅丸長方形（推定）	4 × 3.6	18	×	×	×	×	×	×

表２　三河地域の縄文時代竪穴建物跡 一覧表（2）

地図番号	遺跡名（市町村）・遺構名	時期	形態	大きさ (m)	深さ（cm）	主柱穴	壁柱穴	周溝	炉　種類	炉　形	炉　大きさ（cm）
13	大崎遺跡（設楽町）										
13-93	5300SI	中期後半	楕円形	3.9 × 3.2（推定）	20	○	×	×	地床炉？		60 × 60
13-94	5054SI	中期後半	隅丸方形	3.8 × 2.8（推定）		×	×	×	×	×	×
13-95	5057SI	中期後半	隅丸長方形（推定）	4.4 × 2.8（推定）		○	×	×	地床炉？		40 × 40
13-96	5055SI	中期後半	隅丸長方形（推定）	5.2 × 3.8（推定）		○	×	×	地床炉？		推定 60 × 60
13-97	5361SI	中期後半	隅丸長方形（推定）	4.4 × 3.4（推定）		×	×	×	地床炉？		推定 60 × 60
13-98	5356SI	後期前葉～中葉	隅丸方形	3.2 × 3		×	×	×	地床炉？		80 × 60
13-99	5321SI	後期前葉～中葉	隅丸方形	4 × 4		○	×	×	地床炉？		80 × 60
13-100	5324SI	後期中葉	隅丸方形	3.2 × 3		○	×	×	地床炉？		80 × 60
13-101	5050SI	後期中葉	隅丸長方形（推定）	4.4 × 3.6		○	×	×	地床炉？		60 × 40
13-102	5425SI	後期末	隅丸長方形（推定）	4.4 × 4（推定）		×	○	×	石囲炉	方形	60 × 60
13-103	5440SI	後期末	隅丸長方形（推定）	3.8 × 3（推定）		×	○	×	石囲炉？		60 × 60
13-104	5090SI	後期中葉～後期末	隅丸長方形	5 × 4		○	×	×	×	×	×
13-105	5001SI	晩期	隅丸方形	4.2 × 4		×	○	×	地床炉		40 × 40
14	西地・東地遺跡（設楽町）										
14-106	1305SI	中期末～後期初頭	隅丸方形（推定）	5 × 5	20	○	○	×	石囲炉	方形	60 × 70
14-107	1306SI	中期末～後期初頭	隅丸方形（推定）	5 × 5	10	×	○	×	石囲炉	方形	60 × 60
14-108	1304SI	後期初頭	隅丸方形（推定）	5 × 5	30	○	○	×	石囲炉	方形？	50 × 50（推定）
14-109	1201SI	後期初頭	隅丸方形か円形（推定）	4.5 × 4.5		×	○	×	土器敷炉		
14-110	1263SI	後期初頭	隅丸方形	4 × 4		×	○	×			60 × 50
15	胡桃窪遺跡（設楽町）										
15-111	111SI	前期後半	楕円	3.6 × 3	50（斜面）	×	○	×	地床炉？		
15-112	300SI	中期後半	隅丸方形（推定）	4.7 × 4.1（推定）	30（斜面）	×	○	×	石囲炉	多角形？	60 × 60（推定）
15-113	399SI	中期後半	隅丸長方形（推定）	4.9 × 2.2（推定）		×	○	×	石囲炉？	多角形？	50 × 50（推定）
16	本郷桜平遺跡（東栄町）										
16-114	住宅跡	晩期中葉	隅丸方形	3.0 × 3.0		○	×	×	石囲炉	方形	
17	モリ下遺跡（新城市）										
17-115	1703SI	後期初頭	円形	径 4.2		○？	×	○	×	×	×
18	石座神社遺跡（新城市）										
18-116	3001SI	中期後半	円形	径 3.0		×	×	×	石囲炉	方形	60 × 35
19	天井平遺跡（豊川市）										
19-117	SB-1	早期中葉	楕円形	4.58 × 3.80	13	×	×	×	×	×	×
19-118	SB-2	早期中葉	円形	径 3.10	37	×	×	×	×	×	×
19-119	SB-3	早期中葉	円形	径 3.2	43	×	×	×	×	×	×
19-120	SB-4	早期中葉	楕円形（推定）	3.93 × 3.40	23	×	×	×	×	×	×
19-121	SB-5	早期中葉	円形（推定）	径 2.5（推定）	41	×	×	×	×	×	×
20	麻生田大橋遺跡（豊川市）										
20-122	SH3	晩期後葉	円形	4.8 × 4.5		×	○	×	地床炉	円形	
21	多り畑遺跡（豊橋市）										
21-123	219SI	早期中葉	楕円形	2.4 × 2.0	20	×	×	×	×	×	×
21-124	375SI	早期中葉	楕円形	2.4 × 2.2	10	×	×	×	×	×	×
22	浪ノ上遺跡（豊橋市）										
22-125	E-SB19	早期前葉	楕円形	4.8 × 3.0	30	○	○	×	地床炉		86 × 64
23	西側北遺跡（豊橋市）										
23-126	SB-1	前期中葉	隅丸方形（推定）	1.8 × 1.6 以上（推定）	17	○	×	×	×	×	×
23-127	SB-2	前期中葉	六角形 又は 五角形	4.0 × 3.7	4	○	×	×			
23-128	SB-3	前期中葉	六角形 又は 五角形	4.8 × 2.8	7	○	×	×	×	×	×
24	眼鏡下池北遺跡（豊橋市）										
24-129	SB-1	早期前葉	隅丸三角形？	3.1 × 2.3	20	×	○	×	×	×	×
24-130	SB-2	早期前葉	楕円形	3.2 × 2.2	11	×	○	×	×	×	×
24-131	SB-3	早期前葉	楕円形	3.4 × 2.4	20	×	○	×	×	×	×
24-132	下層 SB-1	早期前葉	円形	3.3 × 3.65	30	×	×	×	×	×	×
24-133	下層 SB-2	早期前葉	円形	2.45 × 2.95	25	×	×	×	×	×	×
24-134	下層 SB-3	早期前葉	円形	推定径 4.2	10	×	×	×	×	×	×
24-135	SB01	前期後葉	方形（推定）	3.1 × 3.2	21	○	×	×	地床炉		
25	洗島遺跡（豊橋市）										
25-136	SB-4	前期後葉	隅丸台形	6.4 × 3.2	28（斜面）	○	×	×	×	×	×
25-137	SB-1	中期中葉	五角形	4.0 × 3.5	20（斜面）	○	×	×	×	×	×
25-138	SB-2	前期中～中期前葉	円形	径 4.0	31（斜面）	×	○	×	×	×	×
25-139	SB-3	前期末～中期前葉	隅丸方形	5.0 × 4.8	26（斜面）	○	×	×	×	×	×
25-140	SB-6	中期前葉	五角形	3.6 × 2.9	17（斜面）	○	×	×	×	×	×
26	吉胡貝塚（田原町）										
26-141	第１号住居趾	後・晩期？	方形（推定）			×	○？	×	×	×	×
26-142	第２号住居趾	後・晩期？	円形（推定）	径 4.5（推定）		×	○	×	×	×	×
26-143	第３号住居趾	後・晩期？	円形（推定）	径 5.0（推定）		×	○？	×	×	×	×
27	伊川津貝塚（田原市 旧渥美町）										
27-144	SH01	晩期後葉	楕円（推定）	長径 4.3 以上（推定）		○	○？		石囲炉	楕円形？	80 × 60
28	川地遺跡（田原市 旧渥美町）										
28-145	SH01	後期前葉	円形	径 5.40		×	○	×	×	×	×
28-146	SH02	後期前葉	円形	径 5.50		×	○	×	×	×	×
28-147	SH03	後期前葉	円形	径 5.80		×	○	×	×	×	×
28-148	SH04	後期前葉	円形（推定）	径 5.0（推定）		×	○	×	×	×	×
28-149	SH05	後期前葉	円形	径 3.90		×	○	×	×	×	×
28-150	SH06	後期前葉	円形（推定）	径約 2.5 以上（推定）		×	○	×	×	×	×
28-151	SH07	後期前葉	円形	径 5.10		×	○	×	×	×	×
28-152	SH08	後期前葉	不正形	径約 6.0（推定）		×	○？	×	×	×	×
29	ヒロノ遺跡（豊田市 旧稲武町）										
29-153	１号住居趾	中期末	楕円形（推定）			×	×	×	×	×	×
29-154	２号住居趾	中期後葉	隅丸方形（推定）	長径約 5.0 以上（推定）		×	×	×	×	×	×
29-155	３号住居趾	中期後葉	方形（推定）	長径約 3.3 以上（推定）	25	○	×	×	石囲炉	長方形	約 66 × 39
29-156	４号住居趾	中期後葉				×	×	○	×	×	×
29-157	５号住居趾	中期後葉	隅丸方形（推定）			×	×	○	×	×	×
29-158	６号住居趾	中期後葉	円形（推定）	径 6.0 以上（推定）		×	×	○	×	×	×
29-159	７号住居趾	中期後葉	円形（推定）	径 6.0 以上（推定）		×	○	○	×	×	×
29-160	８号住居趾	中期末									
29-161	SB1	中期後半	長方形（推定）	4.50 以上（推定）× 3.84		○？	○？	×	土器埋設路？		径 72
29-162	SB2	中期後半	隅丸方形	5.0 × 5.0（推定）		○	×	○	石囲炉	方形	70 × 70
30	クダリヤマ遺跡（豊田市 旧稲武町）										
30-163	住居跡	晩期後半	隅丸方形（推定）	長径 3.0 以上（推定）		×	○？	×	石囲炉	楕円形	65 × 45
31	大砂遺跡（豊田市 旧旭町）										
31-164	第１号竪穴式住居趾	中期後半	八角形（円形？）	4.8 × 4.0	50（斜面）	○	×	○	石囲炉	方形	80 × 60
31-165	第２号竪穴式住居趾	中期後半	隅丸方形（推定）	長径 4.8 以上（推定）	25（斜面）	○？	×	○	石囲炉	方形	約 80 × 60
31-166	第３号竪穴式住居趾	中期後半	隅丸方形（推定）	長径 4.5 以上（推定）		×	×	×	石囲炉	方形	約 60 × 60
31-167	第４号竪穴式住居趾	中期前半	円形	径 3.6		○	×	○	石囲炉	方形	約 80 × 80
32	寺ノ下遺跡（豊田市 旧足助町）										
32-168	住居跡	後期前半	円形（推定）	径約 3.5（推定）	18.8	×	○？	×	土器埋設炉？		
33	水汲遺跡（豊田市 旧藤岡町）										
33-169	SB01	前期後葉	隅丸方形（推定）	長径 3.16 以上（推定）	60	○	×	×	×	×	×
33-170	SB03	前期後葉	方形（推定）	長径 2.24 以上（推定）	29.4	×	×	×	×	×	×
33-171	SB02	中期後葉	隅丸方形（推定）	長径 2.68 以上	15.6	×	○	×	石囲炉	方形	長径 50
33-172	SB04	中期後半	楕円形	4.64 × 4.10	24.7	○？	×	×	×	×	×
34	日陰田遺跡（豊田市 旧足助町）										
34-173	竪穴住居趾	中期後葉	隅丸方形	3.9 × 3.4		○	×	○	石囲炉	方形	70 × 65
35	北貝戸遺跡（豊田市 旧足助町）										
35-174	１号住居	早期前葉	円形（楕円？）	3.6 × 3.1		×	×	×	×	×	×
35-175	２号住居	早期前葉	円形（楕円？）	3.8 × 3.6		×	×	×	×	×	×

表３　三河地域の縄文時代竪穴建物跡 一覧表（3）

地図番号	遺跡名（市町村）・遺構名	時期	形態	大きさ（m）	深さ（cm）	主柱穴	壁柱穴	周溝	炉　種類	炉　形	炉　大きさ（cm）
36	沢尻遺跡（豊田市）										
36-176	SB1	中期後葉	円形	3.89 × 3.81	48.7	○	×	○	石囲炉？	楕円形	33.9 × 26.7
36-177	SB2	中期後葉	円形（推定）	3.44 × 2.74 以上（推定）	30	○	×	○	石囲炉？	方形	109.4 × 93.0
36-178	SB3	中期後葉	隅丸方形	4.96 × 4.61	40.9	○	×	○	石囲炉？	方形	102.6 × 99.5
36-179	SB4	中期後葉	隅丸楕円形（推定）	5.20 × 3.95 以上（推定）		○?	×	○	不明	楕円形	
37	今朝平遺跡（豊田市 旧足助町）										
37-180	SB1	後期前葉	円形	径 5	30	×	×	?	石囲炉	方形	75.6 × 67.9
38	シメ土遺跡（豊田市 旧足助町）										
38-181	竪穴住居趾	中期後半	長方形（推定）	3.2 × 1.4 以上（推定）		×	×	×	地床炉？	方形	55 × 55
39	馬場遺跡（豊田市 旧足助町）										
39-182	第１号住居趾	早期前半	五角形	2.8 × 1.8		×	×	×	×	×	×
39-183	第２号住居趾	早期前半	不整形	3.7 × 2.4	30	×	○?	×	×	×	×
39-184	第３号住居趾	早期前半	楕円形	径 4	40	×	○	×	×	×	×
39-185	第４号住居趾	早期前半	五角形	2.6 × 1.5		×	○	×	×	×	×
39-186	第５号住居趾	早期前半	五角形	2.9 × 1.9		×	○	×	×	×	×
39-187	第６号住居趾	早期前半	五角形	3.3 × 2.5		×	○	×	×	×	×
39-188	第７号住居趾	前期後半	円形	4 × 3.8	50	×	○	×	×	×	×
39-189	第８号住居趾	前期後半	円形	径 4.5		×	○	×	×	×	×
39-190	第９号住居趾	後期前半	円形（推定）	径 5.0（推定）		×	×	×	石囲炉		
40	三本松遺跡（豊田市）										
40-191	SB01	後期末	円形（推定）	径 3.2 以上（推定）		○?	×	×	×	×	×
41	三斗目遺跡（豊田市）										
41-192	SB01	後期中葉	円形	径 8.0		×	○	×	石囲炉	方形？	70 × 70
42	万加田遺跡（豊田市）										
42-193	SB01	中期後葉	方形	4.05 × 3.90		○	×	○	×	×	×
42-194	SB02	中期後葉	方形（推定）	5.50 × 5.00（推定）		○	×	○	石囲炉	円形	径 50
42-195	SB03	中期後葉	不明	不明		○?	×	○?	地床炉？		42 × 35
43	栃原遺跡（豊田市）										
43-196	SB01	中期後葉	隅丸方形（推定）	3.59 × 2.0 以上（推定）	25	○	×	○	石囲炉	方形	70 × 62
43-197	SB02	中期後葉	隅丸方形（推定）	3.60 × 3.07 以上（推定）	40	○	×	○	石囲炉	楕円形	58 × 47
43-198	SB03	中期後葉	隅丸方形	4.05 × 3.87	8	○	○	○	石囲炉	方形	73 × 70
44	曽根遺跡（豊田市）										
44-199	SB01	中期後葉	隅丸方形	5.59 × 5.34	33	○	×	○	石囲炉	方形	120.6 × 100.3
44-200	SB02	中期後葉	方形	4.87 × 4.26	31	○	×	○	石囲炉	方形	111.7 × 103.2
44-201	SB03	晩期前半	円形（推定）	6.55 × 3.64 以上（推定）	24	×	○?	○?	地床炉		
45	丸根遺跡（豊田市）										
45-202	SB02 住居跡	晩期前半	円形	4.42 × 4.38	26	○	○	×	石囲炉	六角形	65.1 × 58.5
46	秋葉遺跡（豊田市）										
46-203	SB1 号住居跡	中期後葉	隅丸長方形	4.22 × 3.26	12.5	○	×	○	石囲炉	方形	87.6 × 74.0
46-204	SB2 号住居跡	中期後葉	方形	3.71 × 3.60	13.7	○	×	○	石囲炉	方形	69.1 × 57.6
47	今町遺跡（豊田市）										
47-205	98BSB0001	後期前葉～中葉	円形（推定）	6.64 × 2.08 以上（推定）	35	○	×	×	×	×	×
48	水入遺跡（豊田市）										
48-206	99DSB15(a)	中期後葉	隅丸方形	4.4 × 4.25（推定）		○	×	○	地床炉（粘土）	方形	64 × 52
	99DSB15(b)	中期後葉	隅丸方形（推定）						地床炉（粘土）	方形	48 × 30
48-207	99DSB16	中期後葉	円形	4.1 × 3.8	20	○	×	○	地床炉（粘土）	方形	58 × 49
48-208	99DSB30	中期後葉	円形（推定）	南北 3.3 以上（推定）	10	×	×	×	×	×	×
48-209	99DSB35	中期後葉	円形（推定）	長軸 4.1 以上（推定）		×	×	×	×	×	×
48-210	99KSB1075	後期初頭	円形（推定）	形 4.0 以上（推定）	20	×	×	×	石囲炉	方形	一辺 50~60
49	真宮遺跡（岡崎市）										
49-211	J1 号住居跡	晩期前葉	円形	径 3.0~2.68	平地	○	×	×	地床炉		
49-212	J2 号住居跡	晩期中葉	円形	径 4.07 ～ 3.35	平地	○?	○?	×	地床炉		
49-213	J3 号住居跡	晩期前葉	円形	径 3.82 ～ 3.45	平地	○	×	×	地床炉		
49-214	J4 号住居跡	晩期中葉	円形	径 4.0	平地	○	×	×	地床炉		
49-215	J5 号住居跡	晩期前葉	円形	径 5.0 ～ 4.6	平地	○	×	×	地床炉		
49-216	J6 号住居跡	晩期前葉	円形	径 4.98 ～ 4.53	平地	○	×	×	地床炉		
49-217	J7 号住居跡	晩期前葉	円形	径 4.0	平地	○	×	×	礫と粘土		
49-218	J8 号住居跡	晩期中葉	円形	径 4.5	平地	○	×	×	地床炉（粘土）		
49-219	J9 号住居跡	晩期中葉	円形	径 4.30 ～ 3.92	平地	○	×	×	地床炉（粘土）		
49-220	J10 号住居跡	晩期前葉	円形	径 4.25 ～ 3.85	平地	○	×	×	地床炉		
49-221	J11 号住居跡	晩期中葉	円形	径 5.96 ～ 5.18	平地	○	×	×	地床炉（粘土）		
49-222	J12 号住居跡	晩期前葉	円形	径 4. 0	平地	○	×	×	礫と粘土		
50	村上遺跡（岡崎市）										
50-223	1 号住居跡	中期後葉	隅丸方形	3.6 × 3.5		○	×	×	石囲炉		
50-224	2 号住居跡	中期後葉	隅丸方形	3.3		○	×	×	石囲炉		
50-225	3 号住居跡	中期後葉	隅丸方形	4.4 × 4.7	20	○	×	○	地床炉？		
51	枯木宮貝塚（西尾市）										
51-226	SB01	晩期前葉	円形（推定）	径 5.6 以上（推定）	平地	○	×	×	地床炉		
51-227	SB02	晩期前葉	円形	5.8 × 5.5	平地	○	×	×	地床炉		
51-228	SB03	晩期前葉	円形	5.8 × 5.3	平地	○	×	×	地床炉		
51-229	SB04	晩期前葉	楕円形（推定）	3.45 × 3.4（推定）	10	×	○?	×	地床炉		径 52
51-230	SB05	晩期前葉	楕円形（推定）	2.05 × 3.0 以上（推定）	20	×	×	×	地床炉		
51-231	SB06	晩期前葉	円形（推定）	3.3 × 3.8 以上（推定）	12	○?	×	×	×	×	×
51-232	SB07	晩期前葉	円形（推定）	径 3.0 以上（推定）	平地				地床炉		
52	築地貝塚（刈谷市）										
51-233	第１号住居址	後期中葉	円形	5.5 × 4.9	30	×	○	×	地床炉		径約 80
53	芋川遺跡（刈谷市）										
53-234	J1 号竪穴住居	中期後葉	隅丸方形	4 × 4.4	25	○	×	×	×	×	×
53-235	J2 号竪穴住居	中期後葉	五角形	3.4 × 3.8	30	○	×	×	地床炉	円形	75 × 80
53-236	J3 号竪穴住居	中期前葉	円形	3.8 × 3.5	16	×	○	×	地床炉？	楕円形	80 × 60
53-237	J4 号竪穴住居	中期末	隅丸方形	4.0 × 3.8	15	○	×	×	地床炉？	方形	55 × 55
53-238	J5 号竪穴住居	中期後葉	隅丸方形	4.6 × 4.3		○	×	○	地床炉	楕円形	70 × 55
53-239	J6 号竪穴住居	中期後葉	楕円形	3.3 × 3.0		○	×	×	地床炉	円形	径 50
53-240	J7 号竪穴住居	中期前葉	円形	径 4.4	10	○	○	×	地床炉	円形	径 50
53-241	J8 号竪穴住居	中期末	隅丸長方形	4.6 × 4.0	26	○	○	×	地床炉	楕円形	80 × 64
53-242	J9 号竪穴住居	中期末	隅丸方形	3.9 × 3.5		○	×	○	地床炉	円形	65 × 60
53-243	J10 号竪穴住居	中期後葉	円形	4.6 × 4.2	22	○	×	×	地床炉	円形	径 66
53-244	J11 号竪穴住居	中期末	隅丸方形	4.9 × 4.6	16	○	×	×	地床炉	円形	44 × 40
53-245	J12 号竪穴住居	中期末	隅丸方形	3.7 × 3.4	21	○	×	×	地床炉	方形	64 × 60
54	小針遺跡（知立市）										
54-246	SI1	中期後葉	隅丸方形	長径 3. 4 以上（推定）	44	×	×	×	石囲炉	楕円形	64 × 44
55	間瀬口遺跡（知立市）										
55-247	SI1	中期後葉	隅丸方形	4.8 × 4.68	32	○	×	×	地床炉	円形	88 × 76
55-248	SI2	中期後葉	隅丸方形（推定）	長径 4.5 以上（推定）	36	○	×	×	地床炉	円形	径 80
55-249	SI3	中期後葉	円形	4.4 × 4.28	22	○	×	×	地床炉	円形	60 × 56

高橋氏は尾張・西三河・美濃地域を対象に、遺跡の土地利用の密度(遺構密度)を検討し、密度が濃い部分の研究を重視して行ってきた東日本の縄文研究は東海地方には当てはまらないことが多いと指摘する。

伊藤正人氏は先に述べた岩瀬彰利氏の資料を補強しつつ、東海という西と東の中間的地域の中で、東西の境界線がどのように変動したかが重要であると指摘している。

伊藤氏が指摘する東西の境界線と呼べるかはわからないが、表１～表３の資料をまとめる際に興味深いデータが確認出来た。縄文時代中期後半から４本柱の主柱穴の隅丸方形の竪穴建物跡が増加し、縄文時代後期に移行するに従って円形の壁柱穴を有する竪穴建物跡(図５)が増えると岩瀬氏も増子氏も指摘しているが、設楽ダムの関連事業で調査した東三河の北設楽郡では中期後半から後期にかけても竪穴建物跡の住居形態の比率はさほど変化はないようである。図２は北設楽郡地域の竪穴建物跡の住居形態の比率を、図３は北設楽郡以外の住居形態の比率を表している。なお、両グラフとも曖昧な遺構はカウントしておらず、表１の中で(推定)のつかない遺構のみで構成されている。図２の円グラフがさほど変化が見られないのに対して、図３のグラフは隅丸方形の竪穴建物跡が０になっている。図３のグラフは（推定）のつかない遺構のみで構成されているが、(推定)の遺構を見渡しても、後期から隅丸方形の竪穴建物跡は見当たらない。今回表に取り扱っていない新城市の観音前遺跡では縄文時代後期の隅丸方形の竪穴建物跡が確認されているようだが、それも２棟のみの様である(増子 2001)。尚、住居形態は縄文時代後期に移っても隅丸方形が多いが、４本柱の主柱穴はあまり見られなくなり、円形の住居の様に壁柱穴の竪穴建物跡が増加している(図４)。

４．まとめ

今回は単純に住居形態のみに注目してみたが、他にも炉跡の形態や出土遺物など検証すべきことは多い。北設楽郡では隅丸方形の住居形態が縄文中期後半から後期半ばまで使用されていたのに対して、同じ様に中期後半まで隅丸方形の住居形態でありながら、なぜ他の地域では円形の住居形態に傾いたのか。人的要因か、地理的要因か。今後は長野や静岡まで範囲を広げて検討していきたい。

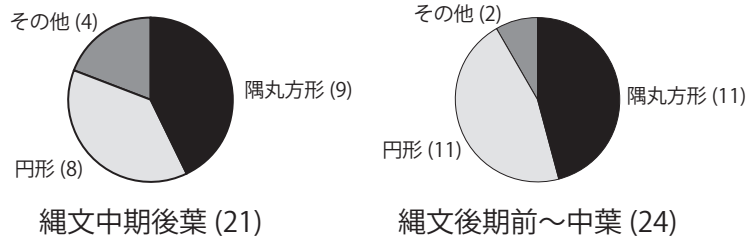

図２　縄文中期後葉～後期中葉までの北設楽郡の住居形態の比率の変化

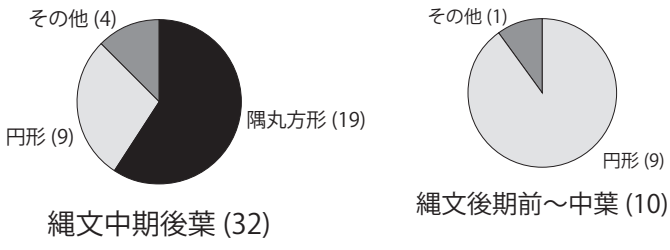

図３　縄文中期後葉～後期中葉までの北設楽郡以外の住居形態の比率の変化

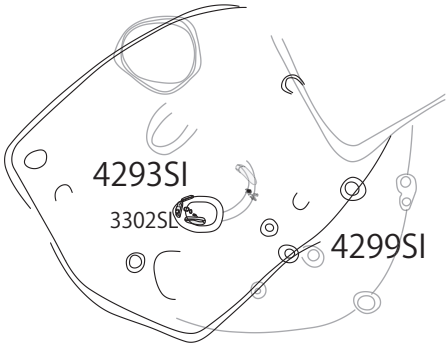

図４　笹平遺跡 4293SI・4299SI(1/100)

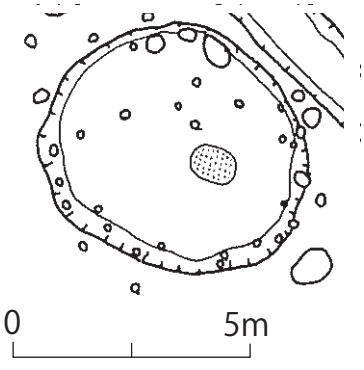

図５　築地貝塚 第１号住居址

参考文献

愛知県埋蔵文化財調査センター 2016『年報』
愛知県埋蔵文化財調査センター 2017『年報』
愛知県埋蔵文化財調査センター 2018『年報』
愛知県埋蔵文化財調査センター 2019『年報』
愛知県埋蔵文化財調査センター 2020『年報』
愛知県埋蔵文化財調査センター 2021『年報』
愛知県埋蔵文化財調査センター 2022『年報』
足助町教育委員会 1988『日陰田遺跡第２次発掘調査が概報』
渥美町教育委員会 1993『川地遺跡』
天野暢保ほか 1982「シメ土遺跡」『栃基盤整備事業に伴う埋蔵文化財確認調査 (3)』45-68 頁 足助町教育委員会
天野暢保編 1985『大砂遺跡 2』旭町教育委員会
伊藤悳ほか 2010『浪ノ上　Ⅱ』豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 112 集
伊藤正人 2003「愛知県における縄文集落研究の現段階」『関西縄文時代の集落・墓地と生業』関西縄文論集１ 11~26 頁 六一書房
岩瀬彰利 1997「三河湾・伊勢湾周辺地域における縄文時代住居の変遷について（1)」『三河考古』第 10 号 1-21 頁 三河考古刊行会
岩瀬彰利ほか 2008『中郷西遺跡･西側北遺跡･西側北１号墳』豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 99 集
岩瀬彰利ほか 2008『洗島遺跡・洗島 1 号墳』豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 95 集
岩瀬彰利編 2008『眼鏡下池北遺跡』豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 96 集
岩原剛編 2009『洗島遺跡 (Ⅱ)・西側遺跡 (Ⅳ)・眼鏡下池北遺跡 (Ⅱ)・中郷西遺跡 （Ⅱ)』豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 107 集
岩原剛ほか 2011『西側北遺跡 (Ⅱ)・西側遺跡 (Ⅴ)・東側遺跡 (Ⅰ)・眼鏡下池北遺跡 (Ⅲ)』豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 117 集
岡崎市教育委員会生涯学習課 2006『村上遺跡』
長田友也編 2007『秋葉遺跡・酒呑ジュリンナ遺跡』豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 28 集
長田友也編 2008『丸根遺跡・丸根城跡』豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 32 集
長田友也編 2009『曽根遺跡』豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 37 集
長田友也編 2011『水汲遺跡　第２・３・５・６次調査』豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 49 集
長田友也編 2019『今朝平遺跡』豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 79 集
長田友也編 2021『沢尻遺跡』豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 85 集
小野田勝一ほか 1995『伊川津遺跡』渥美町埋蔵文化財調査報告書第 7 集
蔭山誠一 1996「竪穴住居の地域性が表れる背景　ー弥生時代中期後葉における伊勢湾沿岸地域を中心にしてー」『年報』平成 7 年度 104-116 頁 愛知県埋蔵文化財センター
川添和暁 2013「奥三河地域の縄文時代後晩期の様相について - 東栄町引田遺跡・本郷桜平遺跡を中心に -」『研究紀要第 14 号』1-10 頁 愛知県埋蔵文化財センター
川添和暁編 2019『西地・東地遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 211 集
川添和暁 2020「設楽町津具の大根平遺跡・鞍船遺跡について」『研究紀要第 22 号』1-16 頁 愛知県埋蔵文化財センター
桑原将人編 2009『天井平遺跡』豊川市教育委員会
小嶋廣也編 2002『今町遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 105 集
斎藤嘉彦編 2001『国指定史跡真宮遺跡』岡崎市教育委員会
杉浦茂ほか 1996『小針遺跡』知立市教育委員会
清水正明ほか 1997『間瀬口遺跡』知立市教育委員会
鈴木茂夫ほか 1981『馬場遺跡概報』愛知県東加茂郡足助町教育委員会
鈴木茂夫ほか 1986『寺ノ下遺跡』愛知県東加茂郡足助町教育委員会
鈴木正貴編 2022『笹平遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 215 集
高橋健太郎 2002「東海西部における縄文時代中期後半集落の立地・規模・土地利用」『勢濃尾』創刊号 23-29 頁 勢濃尾研究会
田中俊輔編 2010『栃原遺跡』豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 43 集
田原町教員委員会 1981『吉胡貝塚分布調査報告』
永井邦仁編 2005『水入遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 108 集
長江洋一ほか 1995『クダリヤマ遺跡』稲武町教育委員会
宮原佑治ほか 2013『眼鏡下池北遺跡 (Ⅵ)･西側北遺跡 (Ⅲ)･西側遺跡 (Ⅷ)・東側遺跡 (Ⅱ)・洗島遺跡 (Ⅳ)・中郷遺跡 (Ⅲ)』豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 125 集
成瀬憲作ほか 2002『花本遺跡・万加田遺跡』豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 20 集
樋上昇編 2020『川向東貝津遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 213 集
樋上昇編 2022『大栗遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 218 集
久永春男ほか 1995『芋川遺跡』刈谷市教育委員会
増子康眞編 1995『ヒロノ遺跡緊急調査報告書』稲武町教育委員会
前田清彦編 1993『麻生田大橋遺跡発掘調査報告書』豊川市教育委員会
増子康眞ほか 1999『ヒロノ遺跡第２次調査報告書』稲武町教育委員会
増子康眞 2001「愛知県における縄文時代集落の諸様相」『列島における縄文時代集落の諸様相』451-468 頁 縄文時代文化研究会
松井直樹編 2005『枯木宮貝塚Ⅰ -N 地区 -』西尾市埋蔵文化財発掘調査報告書第 14 集
松井直樹編 2006『枯木宮貝塚Ⅱ -S 地区 -』西尾市埋蔵文化財発掘調査報告書第 15 集
宮本長二郎 1996『日本原始古代の住居建築』中央公論美術出版
余合昭彦編 1993『三斗目・三本松遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 47 集
渡邉峻 2022「設楽町の縄文時代竪穴建物跡の比較・分析」『研究紀要第 23 号』57-62 頁 愛知県埋蔵文化財センター